

SH-2A用 E200F および E10A-USBエミュレータ ご使用上のお願い

SuperH RISC engineファミリ用エミュレータE200F および E10A-USBの使用上の注意事項を連絡します。

1. 該当製品

- E200F (R0E0200F1EMU00)
E200Fエミュレータソフトウェア V.1.00 Release 00以降でサポートしています。
- E10A-USB (HS0005KCU01HおよびHS0005KCU02H)
E10A-USBエミュレータソフトウェア V.1.08 Release 00以降でサポートしています。

2. 内容

内蔵トレース機能を使用する場合、ユーザプログラム実行のリアルタイム性がなくなる（ユーザプログラムの実行が一時停止する）場合があります。

3. 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に問題が発生します。

- (1) SuperH RISC engineファミリSH7200グループMCUをデバッグ対象としている。
- (2) Acquisitionダイアログボックスの設定でAUDトレース取得モードとして Non realtime traceを設定した後、内蔵トレース機能を使用する設定に変更した場合(以下の手順でAcquisitionダイアログボックスの設定を変更した場合。)
 - a. Traceウィンドウ上で右クリックして開くポップアップメニューから「設定」を選択してAcquisitionダイアログボックスを開く。
 - b. Trace modeタブの中で、Trace typeとして"AUD function"ラジオ ボタンをチェックする（AUDトレース機能を使用する設定）。

- c. AUD mode1 (AUD トレース取得モード*) として"Non realtime trace"ラジオボタンをチェックする。
- d. AcquisitionダイアログボックスのOKボタンをクリックする。
- e. Traceウィンドウ上で右クリックして開くポップアップメニューから「設定」を選択してAcquisitionダイアログボックスを開く。
- f. b項の設定を変更する。つまりTrace typeとして"Internal Trace" ラジオボタンをチェックする (内蔵トレース機能を使用する設定)。
- g. AcquisitionダイアログボックスのOKボタンをクリックする。

(この後、デバッグを実行すると問題が発生します)

- * AUD トレース取得モードは、Realtime traceモードとNon realtime trace モードがあります。

- Realtime traceモード

トレース情報を出力中に次の分岐が発生した場合、出力中のトレース情報は出力されますが、次のトレース情報は出力されません。このため、ユーザプログラムはリアルタイムに動作しますが、トレース情報が一部取得できないことがあります。

- Non realtime traceモード

トレース情報を出力中に次の分岐が発生した場合、トレース情報が出力し終わるまで、CPU は動作を停止します。このため、ユーザプログラムのリアルタイム性はありません。

4. 回避策

Acquisitionダイアログボックスの設定でAUD トレース取得モードとして Non realtime traceを設定した後、内蔵トレース機能を使用する設定に変更する場合は、エミュレータの接続を解除し、再接続してから内蔵トレース機能を使用する設定に変更してください。

エミュレータの接続の解除と再接続については、各エミュレータのユーザーズ マニュアルの「エミュレータの再接続」および「エミュレータの終了」の項を参照ください。

5. 恒久対策

エミュレータソフトウェアの次期バージョンで改修します。

- E200F V.2.01 Release 00 (12月リリース予定)
- E10A-USB V.2.02 Release 00 (12月リリース予定)

リリースはツールニュースでお知らせします。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.